

## 第23回 RE100で再エネ由来Jクレジットの活用が可能に！

RE100とは事業運営を100%再生可能エネルギー電力で調達することを目標に掲げる国際イニシアチブです。このRE100に活用する再エネ証書として、再エネ由来のJ-クレジットが活用できるようになりました。（2018年9月）

<https://japancredit.go.jp/case/re100/>

RE100は、国際環境NGOであるThe Climate GroupがCDPと協力して2014年に開始した国際イニシアチブです。2018年10月現在世界で154社、日本企業では13社が加盟しています。（加盟している日本企業：リコー、積水ハウス、アスクル、大和ハウス工業、ワタミ、イオン、城南信用金庫、丸井グループ、富士通グループ、エンビプロ・ホールディングス、ソニー、芙蓉総合リース、コープさっぽろ）

加盟企業は世界で毎年増加しており、グローバル企業にとっては気候変動対策についての情報開示や、こうした国際イニシアチブへの参加が重要になってきています。日本企業では2017年度末に6社だった加盟数が倍増しており、注目度の高さがうかがえます。

参加企業は遅くとも2050年までに再エネ電力100%を達成する目標を持つことが求められており、年に1回、再エネ電力の利用状況についての報告が必要となっています。（2020年、2030年、2040年の中間目標の設定も推奨されており、できる限り早い達成が望まれています）

再エネの具体的な調達手法としては、

- 1.自社で発電設備を所有する
- 2.電力小売りが保有するオンサイト設備からの購入
- 3.オフサイト発電者との直接連結
- 4.系統接続したオフサイト発電者からの直接調達
- 5.電力小売りとの契約
- 6.再エネ電力証書の購入

といった手段があります。

この中の6. 再エネ電力証書の購入として、再エネ由来 J-クレジットが活用できます。日本における再エネに関する証書は、現在、J-クレジット（再エネ由来）、グリーン電力証書、非化石証書の3つがありますが、RE100 イニシアチブに使用できるのは、J-クレジット（再エネ由来）、グリーン電力証書となっています。この報告の際には再エネ電力証書の購入量を kWh ベースで報告する必要があります。

一方で日本国内では、一定規模以上のエネルギー需要家は省エネ法・温対法によって、燃料や電力の使用量、また CO2 排出量の報告が義務付けられています。この温対法でクレジットを活用する際は t-CO2 ベースで適用します。

このように、日本国内の報告ルールと国際イニシアチブでの報告ルール（GHG プロトコル）ではいくつか違う点があります。他には、例えば日本の温対法では、省エネ由来の J-クレジットも活用できますが、国際ルール（GHG プロトコル）では省エネ由来の J-クレジットは使用できません。また FIT 電気の電源構成をどう取り扱うかなど考え方も違います。

そのため、経済産業省では、こうした国際的なイニシアチブに適合した算定方法や再エネ価値の取り扱い等についてとりまとめたガイダンスを作るための研究会を開始しました。2018年10月29日に第一回の研究会が開催され、今年度末までにガイダンスが取りまとめられる予定です。

こうした情報が整備されることで、温暖化対策や再エネ活用に積極的に取り組む日本企業がグローバルで適切な評価を受けるとことができ、さらなる日本における温暖化対策の推進につながっていきます。

研究会の詳細を知りたい方は以下をご参照ください。

経済産業省 第1回 我が国企業による国際的なイニシアチブへの対応に関する研究会

[http://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/international\\_initiative/001.html](http://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/international_initiative/001.html)



(参考) 経済産業省 第1回 我が国企業による国際的なイニシア  
ティブへの対応に関する研究会 開催資料等、環境省 経済産業省  
グリーンバリューチェーン・プラットフォーム RE100 詳細資料

【ソフト支援事業実施機関】  
株式会社ウェストボックス  
Tel: 052-265-5902 Fax:052-265-5903  
E-mail: info@wastebox.net

\*\*\*\*\*  
中部Jクレ コラム バックナンバー  
<http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/column.html>